

A low-angle, upward-looking photograph of several modern skyscrapers against a bright blue sky with scattered white clouds. A commercial airplane is visible in flight in the upper left quadrant. The buildings feature various architectural styles, including glass facades and grid-like patterns. The text "採用案内" is centered in the upper half of the image.

採用案内

アドバンスソフト株式会社

アドバンスソフトは 未来に挑戦する会社です

技術の進歩とともに計算機は飛躍的に高性能化しています。それに伴い、もの作りの現場では高品質な製品設計やより複雑な現象予測とその対策が求められています。私たちのお客さまである設計者および研究者の皆さまは、ご自身が対象とされている製品およびサービスの品質向上に関わる課題について、解決の方法を日夜検討し実行されています。お客さまが抱える多くの課題の中には、私たちがサービスを提供している計算科学・計算工学のシミュレーションが力を発揮して解決できる課題がたくさん埋もれています。

シミュレーションは、実際の現象を計算機で再現することにより、見えないものを見えるようにする手法のひとつです。「ひょっとしたらこの問題の解決にシミュレーションが使えないだろうか。」とお客さまが思われたとき、私たちはお役に立ちたいと考えています。私たちはシミュレーションの専門家集団です。これまでの豊富な実績をもとに、問題解決のための方法をそのメリット・デメリットとともにお客さまにご提案します。私たちは、これまでもこれからも、さまざまな場面でお客さまの問題を解決していきます。

私たちの特徴は2つあります。ひとつ目は、基盤技術として自社のシミュレーションソフトウェアとその開発能力を持っていることです。ふたつ目は、原子分子の世界から製品単体、各種プラント、さらには地球規模にいたる幅広い時間・空間スケールの問題解決手法を提案できることです。そして、それらを支えているのが質・量ともに豊富な人材です。

シミュレーションは万能ではありません。しかし、複雑で全体を見通すことが難しい方向に進んでいる様々な問題の解決に対して、非常に大きなポテンシャルを持っています。シミュレーションの可能性は今後ますます拡大すると確信しています。私たちは、シミュレーションを用いたお客さまへのサービス提供を「未来への挑戦」と位置づけています。

アドバンスソフト株式会社は、今はまだ小さな会社ですが、将来シミュレーション技術のリーディングカンパニーに成ることを目指しています。シミュレーション技術に関心のある人、意欲のある人。是非とも一緒に「未来へ挑戦」しましょう。



代表取締役社長
松原 聖
Kiyoshi MATSUBARA

略歴
広島県出身。
1984 年 東京工業大学 理工学
研究科 数学専攻 修士課程修
了、1984 年 株式会社芙蓉情報
センター（旧株式会社富士総合
研究所、現みずほリサーチ&テ
クノロジーズ株式会社）入社、
2002 年 株式会社富士総合研究
所 計算科学技術研究センター
所長。2005 年 アドバンスソフ
ト株式会社入社、2014 年 同社
代表取締役社長。



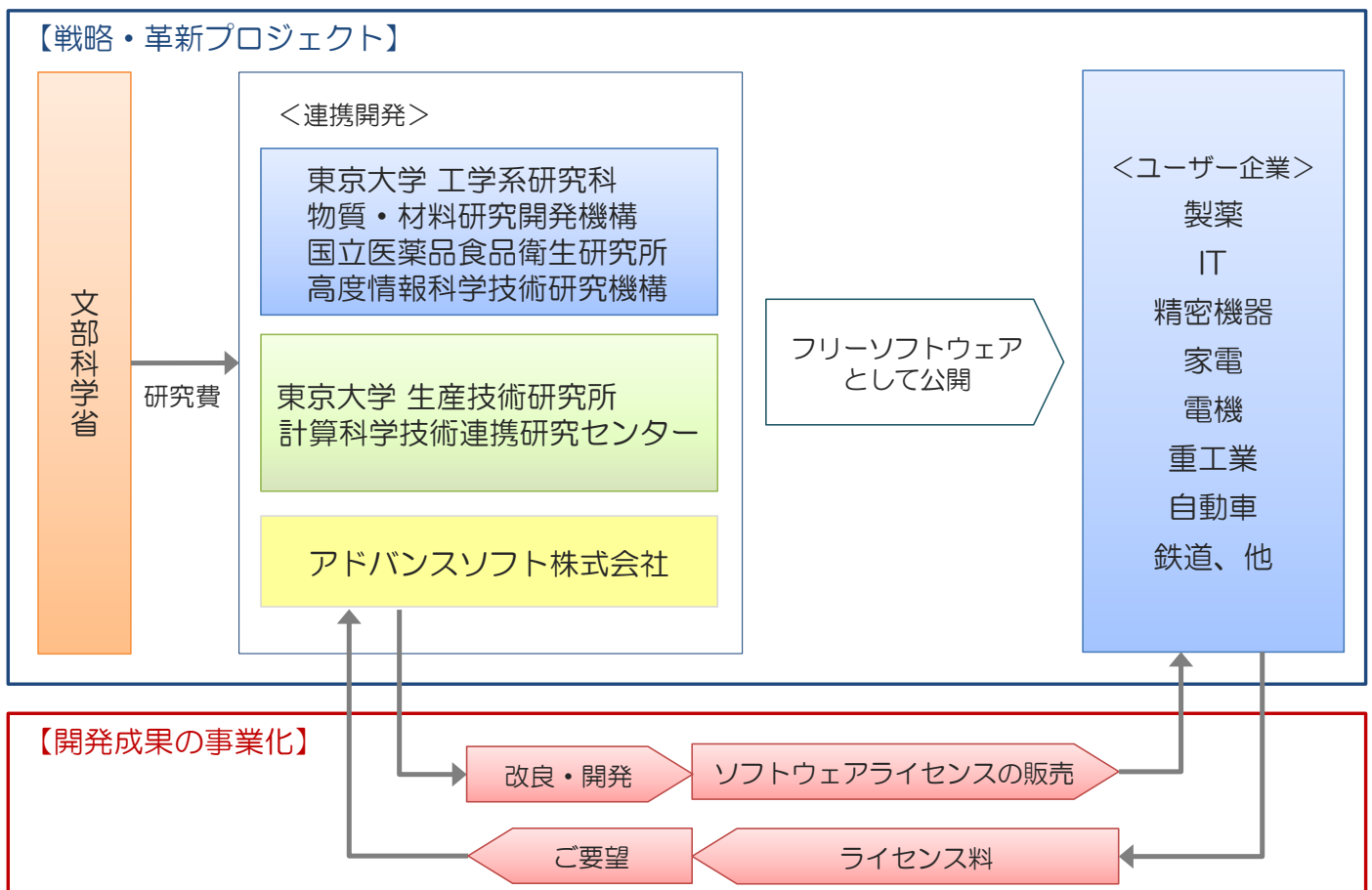
アドバンスソフト株式会社は、シミュレーションを中心とした計算科学技術の専門企業として、国家プロジェクトで開発されたソフトウェアを産業界に普及させる産業拠点となる使命を持って 2002 年 4 月に設立されました。

文部科学省は、わが国の計算科学技術の振興を目的として 2002 年度から 2004 年度まで「戦略的基盤ソフトウェア開発」プロジェクトを総予算約 40 億円で実施しました。さらに継続プロジェクトとして 2005 年度から 2007 年度まで「革新的シミュレーション・ソフトウェア開発」プロジェクトを総予算約 30 億円で実施しました。2 つのプロジェクトは、合計 6 年間、約 70 億円の事業規模となり、わが国のシミュレーション用ソフトウェア開発プロジェクトとしては最大規模となりました。

これらの国家プロジェクトは、東京大学生産技術研究所 計算科学技術連携研究センターを中核拠点とした「学」と、「産」のアドバンスソフト株式会社の強力な産学官連携により、次の 4 項目を目的として推進されました。

- ①複雑・大規模な世界水準の戦略的基盤ソフトウェアを開発し公開すること
- ②戦略ソフトウェアを開発できるトップレベルの人材を世界最先端のソフトウェア開発を通じて育成すること
- ③戦略的基盤ソフトウェア開発の大学と企業の連携による研究拠点の構築をすること
- ④アドバンスソフト株式会社により開発したソフトウェアの事業化と持続的な改良をすること

アドバンスソフト株式会社は、これらのプロジェクトにシミュレーション用ソフトウェアの開発を担う企業として当初より参画すると同時に、プロジェクトにおいて開発されたソフトウェアの実用化および事業化を行って来ました。また現在では、当社独自に開発したソフトウェアもラインナップに加え、産業界のさまざまなお客さまのニーズにお応えできるようになりました。





事業概要

1. パッケージソフトウェアの販売・サポート

当社が取り扱っているパッケージソフトウェアは、国家プロジェクトまたは自社により開発した日本の国産製品です。ソースコードを熟知した開発者が直接お客さまのご質問にお答えするため、迅速で的確なサポートサービスをご提供しています。

2. ソフトウェアの受託開発サービス

お客さまの解決すべき課題に則した、計算科学技術用のソフトウェアを新規に開発します。また、お客さまが現在ご利用になっているソフトウェアへの機能追加および改良にも対応しています。

3. 解析サービス

計算科学用ソフトウェアを用いた解析計算を行います。さらに、その結果をシミュレーションの専門家ならではの見識をもって評価するとともに、「お客さまの課題解決にはどのような手法が有効であるか。」といったご相談にも対応しています。

4. コンサルティング

C A E に関わる様々な課題をお客さまと一緒に解決すべく、コンサルティングサポートをしています。また、ParaView、OpenFOAM[®]といったフリーソフトのコンサルティングも行っています。

5. オンサイトサービス

当社の専門技術者がお客さまの事業場内に専従して業務を行います。お客さまの業務と合わせ、当社のコンサルティングチームおよびソフト開発チームとの連携により総合的なサービスを提供しています。

6. 国家プロジェクトの受託

コンピュータ・シミュレーションの普及および拡大を目指して、国家プロジェクトに参画しています。

7. 出版

計算科学技術用ソフトウェアの開発者からの視点で、多くの技術者や研究者の方々に向けて、実務に役立つ各種の書籍、解説書および事例集を出版しています。

会社概要

社 名 アドバンスソフト株式会社

本 社 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地

新お茶の水ビルディング17階西

T E L 03-6826-3970（代表）

代表者 代表取締役会長 小池 秀耀

代表取締役社長 松原 聖

設 立 2002年4月24日

資本金 3,724万円

社員数 98名（役員：5名、顧問：5名、社員：88名 2023年3月現在）



主要取引先

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

国立研究開発法人防災科学技術研究所

国立研究開発法人国立環境研究所

港湾空港技術研究所

国立研究開発法人理化学研究所

原子力規制委員会

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
気象庁

国立研究開発法人海洋研究開発機構

国立研究開発法人農業生物資源研究

国立研究開発法人物質・材料研究機構

大手民間企業



「ISO9001 : 2015」 認証

アドバンスソフトでは、お客さまに対する成果物の品質保証に関連し、下記をビジネス方針として事業を進めています。

1. お客さまの声を真摯に受けとめ、製品・サービスの改善など、品質の向上に活かします。
2. 世界トップレベルのシミュレーション技術力を追求し、お客さまに信頼され満足される最高品質の製品・サービスを提供します。
3. 品質マネジメントシステムを継続的に改善します。

この方針のもと、より高い品質保証の求められる原子力分野への事業展開のため、当社第4事業部では、2021年1月に品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001:2015を取得いたしました。ISO9001:2015の取得により、さらなる品質管理システムの明確化、社員の責任と義務の明確化、社員への啓発・教育のレベルアップを図っていきます。また顧客満足度についても、今までよりさらに高いレベルで向上を目指します。また、今後、原子力分野のみならず、全社にこの活動を広げてまいります。

アドバンスソフトは創業以来国産のシミュレーションソフトウェアの普及に努めてきました。今後、ISO9001:2015の取得により、従来よりもさらに多方面への事業拡大を行っていきます。また、同時に、多くの分野で社会への貢献を果たしていけるものと考えております。



「2020年度 蔵前ベンチャー賞」受賞

「蔵前ベンチャー賞」は、一般社団法人蔵前工業会（東京工業大学 OB 会）が主催、東京工業大学が共催し、2007年に設置されました。東京工業大学出身者が経営に携わる「高い経営理念を持って、新しい技術、サービス、製品、ビジネスモデル等を事業化することにより、新しい市場や雇用を創造した優れたベンチャー」を表彰するというものです。



アドバンスソフト株式会社は2002年の創業以来、計算科学分野におけるシミュレーションソフトの国産技術開発にチャレンジし、大学で関連分野を専攻した研究者を雇用することにより活躍する場を提供され、デファクトスタンダードとなっている海外製ソフトウェアのマーケットの中で国産のソフトウェアを用いた事業を展開し、その事業規模を拡大し、長期間に渡り安定した収益を確保していることが評価されました。



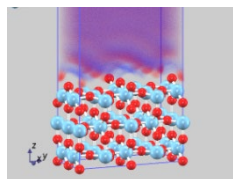
アドバンスソフトでは、流体解析や構造解析から第一原理計算まで、広範な科学技術分野のためのパッケージソフトウェアを、産業界の発展に貢献すべく開発・販売しています。アドバンスソフトのパッケージソフトウェアは産学官連携プロジェクト等を経て開発されて商用化したものと、アドバンスソフトが独自に開発したものを揃え、実用性の高いソフトウェアとして産業界に提供されています。アドバンスソフトは、パッケージソフトウェアのソースコードを保有しているため、カスタマイズ等の広範なお客さまのニーズに対して柔軟にお応えしています。

アドバンスソフトでは、これらパッケージソフトウェアを世界最先端のソフトウェアにすべく、多くの専門的な技術者が日夜開発に励んでいます。例えば、流体解析分野においては、汎用的な流体解析ソフトウェア Advance/FrontFlow/red があります。これも産学官連携プロジェクト等を経て開発されて商用化したものですが、乱流解析技術や燃焼解析技術に精通した技術者によって、世界最先端の乱流モデルや燃焼モデルの開発を行って、常に性能を高めることに努めています。また、気液二相流解析ソフトウェア Advance/FrontFlow /MP、構造物の大変形との連成が可能な高速流解析ソフトウェア Advance/FrontFlow/FOCUS、複雑なパイプラインを有する大規模システム全体の解析が可能な管路系流体解析ソフトウェア Advance/FrontNet シリーズなど、広範な流体解析に対応できるように特化したパッケージソフトウェアを、それぞれの分野に精通した技術者がアドバンスソフト独自に開発し産業界に提供しています。

これらパッケージソフトウェアは、アドバンスソフトの知的財産すべてを網羅しているといっても過言ではなく、アドバンスソフトの根幹に当たるものです。アドバンスソフトでは、これらパッケージソフトウェアを基軸に事業展開しており、広範な産業分野で活用されるように努めています。

ここで掲げているパッケージソフトウェアは、アドバンスソフトのホームページやアドバンスシミュレーション等で事例解析も含めて詳細を紹介しております。また、YouTube や Facebook にも紹介しておりますので、「advancesoft」で検索してみてください。

第一原理計算ソフトウェア Advance/PHASE



擬ポテンシャルと密度汎関数法を用いた平面波展開による第一原理計算ソフトウェアです。ナノ材料（金属・半導体・絶縁体・磁性体・誘電体など）のさまざまな物性を解析・予測できます。さらに、Advance/PHASE は、バルクの問題だけでなく、表面や界面の解析にも適用できます。

Advance/PHASE は、ナノテクノロジーの世界で重要となる多くの問題に対して、高精度で結果を予測することができます。

- GUIによる座標入力データの作成支援
- バンド、k点での2軸並列化
- 500原子規模のナノ構造の電子状態解析
- 超軟擬ポテンシャルの採用
- 相対論（スカラー近似）を考慮、重い元素にも対応
- 地球シミュレータでの大規模計算に対応

ナノ材料解析統合 GUI Advance/NanoLabo

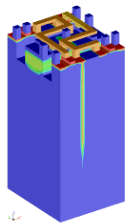


Advance/PHASE や Quantum ESPRESSO、LAMMPS など、各種計算ソルバーをグラフィカルに操作できる統合 GUI です。Materials Project 他、代表的な材料データベースを検索し、モデリング・計算条件設定が極めて容易に行えます。

ソルバーで計算された結果は、各種のグラフィック表示が可能です。

- 白金(111)表面における一酸化炭素分子の吸着構造の密度汎関数理論による計算
- 鉄単結晶の分子動力学シミュレーション
- シリコン単結晶の密度汎関数理論による計算
- 分子の充填によるモデリングと液体の分子動力学シミュレーション

3次元 TCAD システム Advance/TCAD



半導体デバイス 3次元 TCAD システム。超低消費電力の超微細デバイスから大電力のパワーデバイスまで広範囲のデバイスを対象とし、使いやすい GUI を備えています。

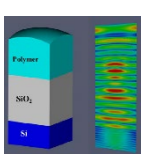
プロセスシミュレータ

- 高速 3次元形状生成、結晶とアモルファスに対応したイオン注入、酸化・拡散機能

デバイスシミュレータ

- Si、SiC、GaNなどさまざまな材質に対応
- 複数デバイスと外部回路を一括して強連成解析することによりリングオシレータおよび負荷の動作、サージ電流現象などを高速かつ高精度に解析

電磁波解析ソフトウェア Advance/ParallelWave



電磁波の支配方程式である Maxwell 方程式をコンピュータシミュレーションによって解き、電磁波の挙動とそれを起源とする物理諸量を算出します。

光波解析への応用

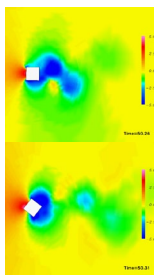
- CCD/CMOS イメージセンサーや太陽電池などの受光デバイス
- 表面プラズモンを応用した光デバイス
- マイクロレンズ、回折格子、光学薄膜、反射防止構造などの各種光学素子

電波解析への応用

- 電子デバイスの高周波特性
- 電子機器への静電気放電
- 電子機器からの漏洩電磁界
- 建築物による電波の遮蔽・反射・回折
- 輸送機器およびその周辺の電磁界分布
- 人体およびその周辺の電磁界分布



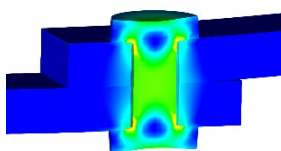
流体解析ソフトウェア Advance/FrontFlow/red *



大規模な並列計算に対応した次世代の流体解析ソフトウェアです。LES（ラージ・エディ・シミュレーション）やDESを用いて、普遍性の高い予測結果を現実的な計算時間で得ることができます。また、燃焼解析、Euler-Lagrangian 二相流解析、キャビテーション解析、乱流音解析などさまざまな機能が実装されています。設計や開発の現場で活用できる数値シミュレーションを実現します。

- LESやDESに基づく大規模乱流シミュレーション
- 領域分割法による高い並列化効率
- お客様のニーズに合わせたカスタマイズ
- 開発技術者がお客様の解析をサポート

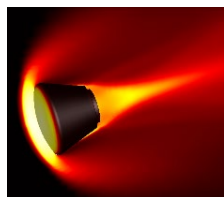
構造解析ソフトウェア Advance/FrontSTR *



固体の変形や熱伝導を、有限要素法を用いた3次元で解析するソフトウェアです。大規模解析に適していることを特徴としています。これまでに、アドバンスソフトでは、ユーザーのニーズに応じて改良や機能追加を行ってきました。

- 大規模並列計算が可能で、高い並列効率
- 多くのCPU（コア）を利用しても追加料金がかからないシンプルな価格体系

圧縮性流体解析ソフトウェア Advance/FOCUS-i



高速流を効率的に解析するための有限体積型の密度ベースソルバーです。大気圏再突入の際の高温気体効果を伴う高速流れを扱うことができます。燃焼流や爆轟波の計算も可能です。PC クラスタでもスパコン環境でも動作させることができます。

- 超音速流のシミュレーションが可能
- 複雑形状周りの流れのシミュレーションが可能
- 燃焼・爆轟に関する燃焼流のシミュレーションが可能

管路系流体解析ソフトウェア Advance/FrontNet シリーズ



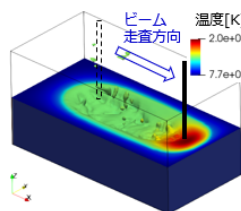
1 次元流が支配する配管システムにおける過渡現象をシミュレーションすることができます。

【適用流体実績例】水、空気、LNG、NG、LPG、LH2、GH2、LO2、N2 等

【適用管路実績例】都市ガス管路網、上水道管路網、発電施設（地熱発電、原子力発電）、LNG、LPG 関連施設、農業用パイプライン、液体ロケットエンジン、トンネル（高速列車移動）

- バルブ遮断時の水撃解析
- ポンプトリップ時の液柱分離・再結合による圧力上昇解析
- システム切替え時の圧力脈動解析
- 制御系圧力応答、ハンチング解析
- 流体組成応答解析
- 入熱による流体温度挙動解析

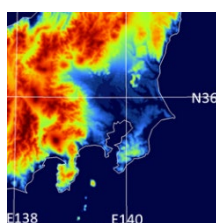
気液二相流解析ソフトウェア Advance/FrontFlow/MP **



実際の沸騰現象に対応した壁面熱伝達モデルを開発し、機器の設計や開発に活用できるソフトウェアです。二流体モデルとレベルセット法を組み合わせることで表面張力を考慮した解析、気泡径を機構論的に求める拡張二流体モデルにより気泡径分布を考慮した解析、レーザーや電子ビームによる溶接解析も行うことができます。

- 非構造格子により任意体系の解析が可能
- 沸騰・凝縮解析、自由表面解析、溶接解析が可能
- 精緻な構成方程式を実装

大気拡散影響予測システム Advance/Emerg



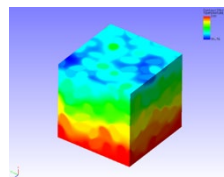
大気拡散物質の挙動予測と影響評価のためのソフトウェア・システムです。

迅速に気象を予測し大気中に放出される化学物質等の挙動を地球規模の広範な空間スケールで解析します。

基本パッケージのみで初期設定入力支援 GUI やプリポスト・コマンドを備えており、計算条件の設定から計算結果の可視化まで、一連の解析を容易に行うことができます。

- 花粉飛散量の評価

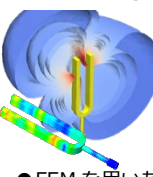
汎用プリポストプロセッサ Advance/REVOCAP *



流体解析ソフトウェア Advance/FrontFlow/red、構造解析ソフトウェア Advance/FrontSTR に対応したプリポストプロセッサです。直感的な操作で、モデリング・メッシュ作成・境界条件の設定、結果の可視化といった解析の一連の流れをスムーズに行うことを実現しています。

- CAD データの読み込み（IGES ファイルなど）
- 四面体自動メッシュ生成
- 操作性に富んだ境界条件、解析条件設定機能
- カラーコンタ・変形・等値面・切断面表示機能
- Windows で実行可能

音響解析ソフトウェア Advance/FrontNoise



環境騒音低減や騒音低下のための機器設計の一環として、音響シミュレーションに関するサービスを提供しています。Advance/FrontNoise では、音源の位置と大きさ等を入力として、解析領域内の音圧レベルを求めます。数値解法には有限要素法（FEM）を利用しています。要素は形状適合性の高い四面体要素を使用しています。

- FEM を用いた大規模モデル計算対応の音響解析ソフトウェアで、周波数領域および時間領域での外部音・内部音などのさまざまな問題を計算することが可能
- 並列計算機での稼動も同一料金で、PC クラスタでの並列処理による高速化・大規模計算が可能（8000 万節点の計算実績あり）
- 新たに導入した無限要素の境界条件を用いると、計算前に指定することなく解析領域以外の結果を算出可能

* Advance/PHASE、Advance/FrontFlow/red、Advance/FrontSTR、Advance/REVOCAP は、東京大学生産技術研究所計算科学技術連携研究センターが実施した文部科学省 IT プログラム「戦略的基盤ソフトウェアの開発」プロジェクト、および、文部科学省次世代 IT 基盤構築のための研究開発「革新的シミュレーションソフトウェアの研究開発」プロジェクトの成果（ソフトウェア）をアドバンスソフト株式会社が商品化したものです。

** Advance/FrontFlow/MP は、上記プロジェクトの FrontFlow/red を基に、アドバンスソフト株式会社が独自に研究・改良・開発を加えて商品化しました。

防災分野におけるWeb活用の シミュレーション構築

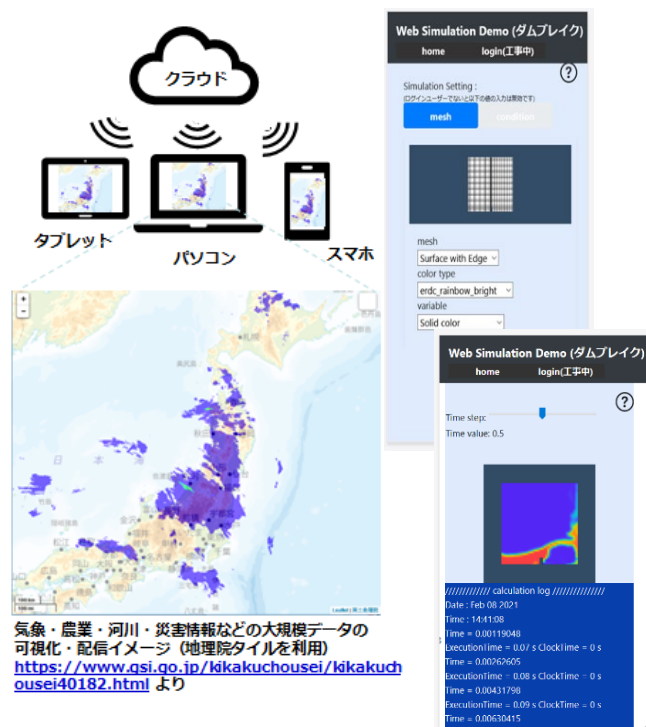
昨今の事情に伴い、Webを利用したリモートワークの広がり、5G技術などWebを活用した新たなビジネスモデルやサービスが広がりを見せております。また防災分野においては近年豪雨による災害が目立ち、令和元年にも東日本台風（台風第19号）による大雨による国内への甚大な被害があり、防災への重要性の認識が高まっています。

アドバンスソフトではリモートPCやスマートフォンから計算等のサービス（*下にデモサイト）の提供が受けられるようにWebを活用したシミュレーション環境の構築に取り組んでおります。このサービスを活用することにより、災害発生時の迅速な効果的対応が可能となります。その一端として、内閣府官民研究開発投資拡大プログラム PRISM 気候変動対策プロ（豪雨対策）コンソーシアム共同研究のテーマ「農村地域における気象災害の発生リスク予測技術」において、Webを用いたシミュレーションの研究開発を行いました。



*デモサイト

<http://websimulation.advancesoft.jp/>



Web ブラウザによる
シミュレーションデモ
（画面は開発中のものです）

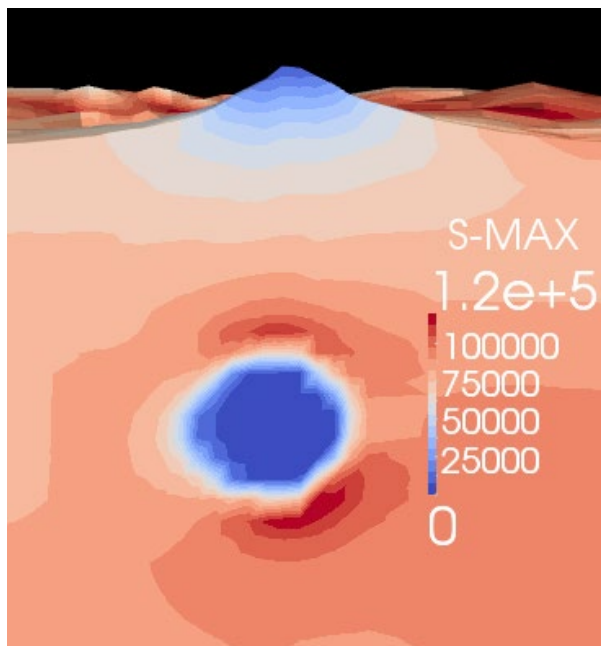
地球科学・防災

地球科学や防災の関連では、地震学や火山学の分野を中心に、防災科学研究所様、産業技術総合研究所様、気象庁様などの研究や業務を支援する活動を行っています。

地震学との関連では、断層運動に伴う地震波の放射、断層運動の結果として生ずる地殻変動、地殻の広域的な粘弾性変形などを解析するソフトウェアを、アドバンスソフトの基盤ソフトウェアAdvance/FrontSTRをベースに開発しています。

火山学との関連では、断層運動に伴う地殻変動を解析するソフトウェアを用いて、巨大地震が火山噴火を誘発する機構を検討しています。

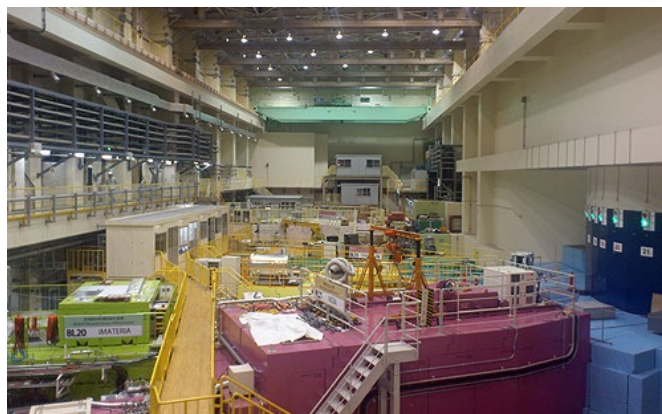
図は東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）により富士山直下でどのような応力変化が生じたかを見積もったものです。マグマの上昇、噴火の発生、火口からの噴煙の上昇や降灰などについても、流体力学に基づくソフトウェアの開発やシミュレーションを進めています。





J-PARCで行われる大規模科学実験のための装置制御プログラム、解析プログラムの開発

日本原子力研究開発機構様（JAEA様）と高エネルギー加速器研究機構様（KEK様）が共同で建設した大強度陽子加速器施設（J-PARC）では素粒子物理、原子核物理、物質科学、生命科学、原子力の各分野に関連する大規模実験が行われています。特にアドバンスソフトでは、世界最高強度の中性子散乱施設である物質科学実験施設（MLF）において実験装置の遠隔制御プログラム、大規模な検出器群からのデータ集収プログラム、およびその膨大なデータから有益な物理的考察を可能とする解析プログラムの作成を行っています。この中性子散乱実験を計算科学の分野として支援することで、燃料電池材料、高機能高分子材料、高温超伝導材料などに応用される全く新しい物質・材料の研究開発や、生命科学に関わるタンパク質等の構造・機能解析研究、またそれらを用いた産業発展に貢献しています。



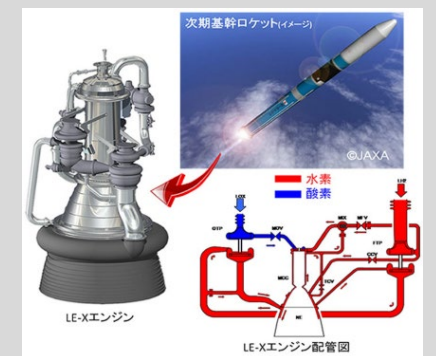
大強度陽子加速器施設 J-PARC 物質・生命科学実験施設

航空宇宙・液体ロケットエンジン

ロケットは地球と宇宙を結ぶ現在唯一の輸送手段であり、現代生活に密着した通信や気象観測はもちろん、天文観測・惑星探査などを目的とした人工衛星の打ち上げやISS（国際宇宙ステーション）の組み立て・物資輸送にも必要不可欠です。現在、わが国はミッションに応じてH-IIAおよびH-IIBロケットを運用しており、それぞれ21回中20回（打ち上げ成功率95.2% [2012年5月18日現在]）と3回中3回（打ち上げ成功率100% [2012年7月21日現在]）の打ち上げに成功し、宇宙開発先進国の一角をなしています。今後は国際的価格競争力の確保と有人輸送に向けた高信頼性が大きな課題となっており、宇宙航空研究開発機構様（JAXA様）では信頼性2倍、開発コスト1/2、開発期間1/2を目指した次期基幹ロケットの検討を進めています。

ロケット開発の肝はそのエンジン開発にあり、現在JAXA様では次期基幹ロケット用のブースターエンジンに向けた技術実証エンジンとしてLE-Xエンジンの研究開発に取り組んでいます。従来のエンジン設計開発はNASAから導入された経験則や多数の試験に依存し、設計開発プロセスの後期に発生する不適合や不具合の発生に伴う設計の手戻りで当初計画から大幅な開発コストや期間の増加を招く非効率なプロセスでした。そこでLE-Xエンジンの研究開発では設計手法の革新にも取り組み、数値解析技術を活用した効率的な開発プロセスの構築を進めています。

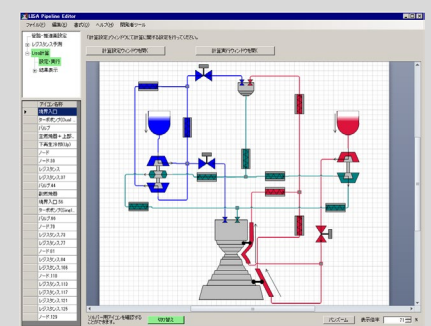
JAXA／情報・計算工学センター様では、設計手法の革新に必要な液体ロケットエンジン設計解析技術の高度化を進めており、その一つにエンジンシステム解析技術があります。ロケットエンジンは推力を発生する燃焼器やそこに推進薬を供給するターボポンプなど多数のコンポーネントが複雑に連結された配管系であり、概念検討段階ではまずそのシステムとしての成立性を検討する必要があります。



新型ロケットエンジン LE-X

<http://stage.tksc.jaxa.jp/jedi/topics/20100531.html>

図説明：LE-Xエンジンイメージ



液体ロケットエンジン設計ツール（LE7Aの例）

図説明：GUIによりエンジン構成要素を自由に配置し設計条件を入力します。計算では一ボンプの動力バランスを満たしながら次元の管路系流体計算を行うことで、エンジンの性能と成立性を瞬時に評価する仕組みになっています。

従来のエンジンシステム設計は、エンジン設計の熟練者がその都度独自の解析プログラムを構築し評価してきたため、汎用性がなくまた解析レベルも低いものでした。そこで高度化の取り組みでは、熟練者でなくても自由な発想でエンジンシステム設計を可能とする汎用性とエンジン特性を適切に予測可能な解析モデルを兼ね備えた新しいエンジンシステム解析ツールLiquid rocket engine System Analysis tool（LISA）の開発を進めています。LISAは、設計者がGUIベースでコンポーネントを自由に配置し連結することでエンジンシステムを構築し、配管系の1次元流体計算を実行することでその性能と成立性の評価が瞬時に可能となっています。これによりロケットエンジン概念設計の大幅な効率化の実現を目指しています。アドバンスソフトはこのLISAの開発を支援し、LE-Xエンジンを始めとする次世代のロケットエンジン開発に貢献しています。



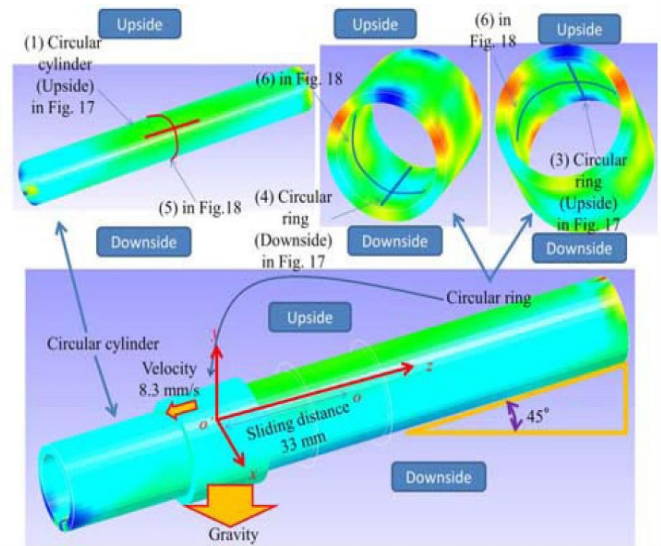
大規模構造解析プログラムの開発

アドバンスソフトでは、汎用構造解析ソフトウェア Advance/FrontSTRを開発しています。現状では残念ながら、海外製の市販の構造解析ソフトウェアがスタンダードとなっています。ところが、近年のハードウェアの飛躍的な進歩や、設計に対する要求レベルの高まりから、複雑で大規模かつ高精度のシミュレーションが必要となっています。

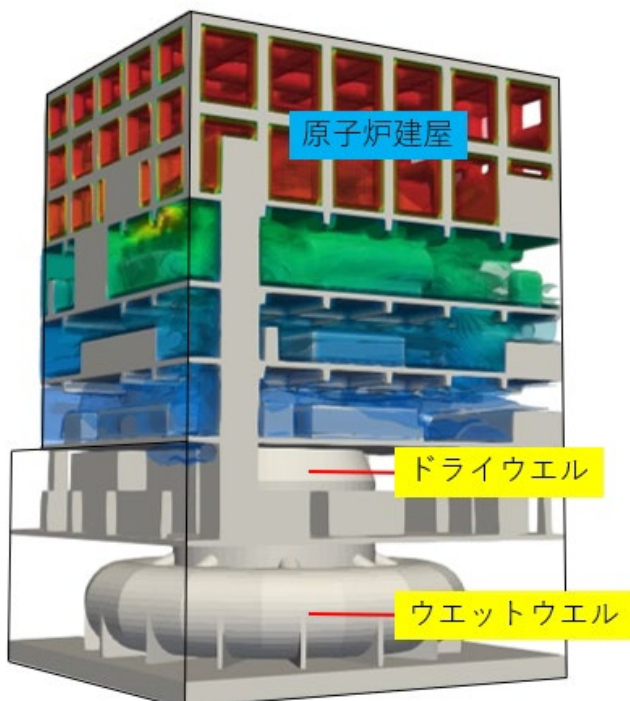
当社の商品であるAdvance/FrontSTRは、国のプロジェクトで開発が開始された時点から大規模なシミュレーションを目的として設計・開発を行ってきました。この状況はわれわれにとっては、大きなチャンスです。

現在すでに、いくつかの企業や研究所において、高度なシミュレーションを目的としてAdvance/FrontSTRを利用させていただいております。例えば、宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス 情報・計算工学センター様では、当社のソフトウェアを利用いただき、そのメリットや性能等について文献[1]等で発表されています。

今後とも、われわれのソフトウェアをお客さまに使っていただき、いろいろな要望を実現することにより、世界標準のソフトウェアとすべく、事業を進めていきます。



[1] 篠原主軸ら, "ヒンジ・ジョイント部の接触・摩擦有限要素解析," 第44回流体力学講演会/航空宇宙シミュレーション技術シンポジウム 2012



原子力安全解析

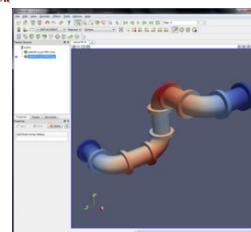
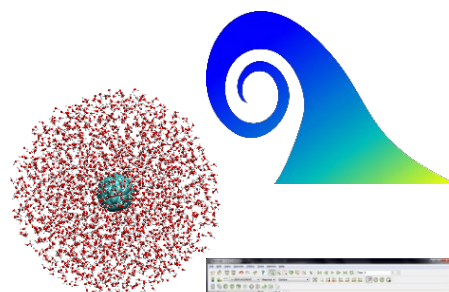
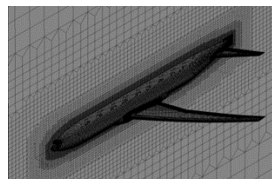
原子力発電所に関しては、物理的・工学的な知見を結集した専用のシミュレータを用いて、事故時の進展を予測し安全対策を評価する原子力安全解析が行われてきました。アドバンスソフトは、原子力安全解析に長年にわたって携わってきた技術者を有し、シミュレータの開発や改良も含めた解析業務を遂行してきました。

福島第一原子力発電所の事故に関連して、過酷事故（シビアアクシデント）解析コードの研究開発や事故進展挙動解析等を実施しています。原子炉の各部と格納容器・原子炉建屋の主要空間を対象に、水-水蒸気の二相流動や多成分非凝縮性ガスの熱流動と溶融物やデブリの熱・運動の方程式を解くことで、外部電源喪失による燃料溶融、溶融物の落下、圧力容器や格納容器の破損といった進展を模擬し、原子炉の中で何が起きてどうなっているのかの推定に役立てようというものです。

国プロ等で開発されたソフトウェアの利用サポート

国のプロジェクト等で開発されたソフトウェアを産業界で活用いただくため、解析サービス、プログラム改良、利用サポートサービスを行っています。

Advance/FaSTAR	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構様により開発された、世界トップレベルの高速性を持つ非構造格子対応の圧縮性流体解析ソフトウェアです。
T-STOC	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所様により開発された、津波による流体および漂流物の挙動が計算できる津波シミュレータです。
LAMMPS	米国サンディア国立研究所で継続的に開発されている、古典分子動力学を用いたオープンソフトウェアです。
ParaView	米国サンディア国立研究所により開発された、大容量のデータセットを分析できる科学技術分野に適した可視化ソフトウェアです。



スーパーコンピューティングサービス

スーパーコンピュータを用いたシミュレーション技術（スーパーコンピューティング技術）は研究や製品開発の基盤技術として、ますます重要性を増しています。わが国においても、スーパーコンピュータ「富岳」の開発に見られるように、スーパーコンピューティング技術の開発と普及に国を挙げて取り組んでいます。これらのスーパーコンピュータの運用機関では民間企業が利用できる制度を整備しています。一方、スーパーコンピュータの産業利用上の1つの課題は、必要な時に必要なソフトウェアを利用できるかという点です。

アドバンスソフトでは、産業からのスーパーコンピュータを利用して「大規模な解析を実用的な計算時間（高速）で行いたい」「社外の計算機環境を有効に活用したい」というニーズにお応えするサービスを実施しています。ここではアドバンスソフトがスーパーコンピュータ上にチューニングし、大規模解析に適した各種ソフトウェアをご利用いただくサービスです。

また、スーパーコンピュータ「富岳」の共用に向けた令和2年度試行的利用課題（利用準備課題）にも弊社は「（課題番号:Hp2002 50）利用研究課題名：実用的CAEソフトウェアの性能評価による数値解法の予備的検討」で採択されております。



手軽にシミュレーションを実施できる環境を提供したい

[志望動機]

自身の開発したオープンソースソフトウェアを事業化するために入社しました。
当該ソフトウェアは、Advance/NanoLabo として販売中です。

[現在の業務]

第一原理計算および分子動力学計算のための統合 GUI システムである、Advance/NanoLabo を開発しています。モデリング機能を充実させると共に、GUI のデザインや操作性を洗練することでシミュレーションが専門でない研究者の方々にも使いやすい設計を心掛けています。初心者でも容易に使える GUI というコンセプトが好評で、売り上げも好調です。また、Neural Network 力場を活用した製品開発や、ESM-RISM(Phys.Rev.B 96, 115429 (2017))などの新規計算手法の開発も行っています。

[私のこれからの抱負]

Advance/NanoLabo の国内および海外での販売を進めて、材料シミュレーション分野におけるデファクトスタンダードの製品とすることを目指しています。これにより、第一原理計算や分子動力学計算が専門でない方々にも、手軽にシミュレーションを実施できる環境を提供していきたいと考えています。

[アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ]

当社では世界に通用するシミュレーションソフトウェアの開発を目指しており、それを実現しつつあります。腕に覚えのある開発者の方は、ぜひ当社の業務に参加して頂ければと思います。また、製品を普及させるためには、製品の高性能化のみでは不十分で、販売戦略も重要になります。技術的な内容を理解しつつ、販売戦略やビジネスを推進する上での作戦の立案ができる人材も大歓迎です。



西原 慧径
Satomichi NISHIHARA

執行役員
電気化学界面コンソーシアム
<<https://eisconsortium.org>>
理事。
2010 年、大阪大学大学院理学研究
科化学専攻博士前期課程修了。

配管設計に携わる技術者にとってユーザービリティの高いソフトウェアを開発する



神長 龍一
Ryuichi KAMINAGA

熱流動エンジニアリングセンター
研究員
茨城県出身。茨城大学工学部マテリアル工学科卒業。茨城大学大学院理工学研究科部室工学専攻マテリアル工学コース博士前期課程修了。興味ある分野は流体力学、情報工学。

[志望動機]

大学時代に原子・分子の古典力学シミュレーションを行っていました。そのため、実世界のさまざまな現象をシミュレートし、理解を深める科学技術計算に興味を持ち、この分野に重きを置いた当社を志望しました。

[現在の業務]

主に農業パイプラインやプラントの配管系といった大規模配管システムの流体解析業務を行っています。また、管路系流体解析ソフトの開発・販売・セミナーや講習会による広告活動などの業務を行っています。科学技術計算用のソルバーだけではなく、プリポストに用いる GUI も開発しています。

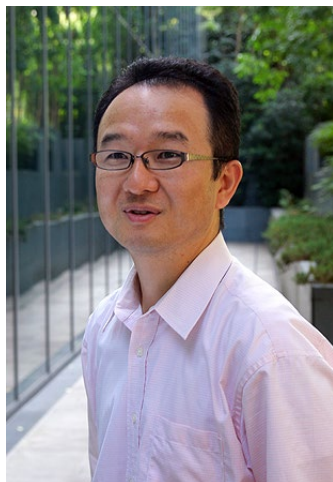
[私のこれからの抱負]

CAE 技術者以外の方でも管路系流体解析を実施できるように、数値計算・ソフトウェアの技術を研鑽していきたいと思っています。また、幅広く多方面で使っていただくためにさまざまな産業の技術も培っていききたいと思っています。

[アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ]

当社は、さまざまな分野のシミュレーションを扱っていますので、シミュレーションに興味のある方、さまざまな産業や技術に興味にある方はぜひ応募してください。特に、大学で物理学や数学を習熟した方は、その知識を生かせると思います。

日本発のプリポストプロセッサの開発に挑む



徳永 健一
Ken-ichi TOKUNAGA
博士（理学）

執行役員
滋賀県出身。京都大学大学院理学研究科博士後期課程数学・数理解析専攻修了。私大専任講師、IT 関係会社勤務を経て 2005 年入社。専門は幾何学。関心のある分野は CG、メッシュ生成、最適化。

[現在の業務]

アドバンスソフトが主としている業務は、流体解析、構造解析、ナノ材料シミュレーションですが、私自身はもう少し抽象的な立場から、数値解析、大域解析学、離散幾何などに関心を持っていて、その分野をシミュレーションのための、空間を離散化したり、結果を可視化したりといった、その前後（プリ・ポスト）の処理へ活用していくことを考えています。これらはエンドユーザーに近い位置を占めているため、ユーザーインターフェイスやシステム間の連携など情報科学的な知識も必要となってきます。アドバンスソフトでは、プリ・ポスト処理技術をもとにして、パッケージソフトウェアの開発、研究所のお客さまと一緒に課題を解決、企業のお客さまの解析業務のためのツールの開発といったさまざまな業務を担当しています。

[私のこれからの抱負]

流体解析、構造解析のプリポストプロセッサ Advance/REVOCAP の機能を向上し、新しい可視化手法やメッシュ生成の方法を製品に取り入れて、Advance/FrontFlow/red および Advance/FrontSTR をより多くの人に使ってもらうことです。また、ここでの技術を他のソフトウェア開発にも応用して、お客さまの問題解決に役立てることで。シミュレーション技術が社会でより多くの人に使われ、かつ信頼されるものとなるように、力を尽くしていきたいと思っています。

[アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ]

シミュレーションを研究テーマとしてきた方はもちろん、CG に興味がある方や、物理・数学の理論的な分野でもプログラミングが好きな方で、その能力で社会の役に立ちたいと思っている人は、ぜひ応募してください。もちろん学生時代とは違い、仕事には責任があります。お客さまには喜んでもらい、自分たちは研究開発の楽しさを感じ、かつ利益も出すといった、ビジネスにおける解を求めるのは、物理や数学の問題を解くのとまた別の難しさがあり、また面白いところでもあります。その面白さを感じながら、プロとして一緒に成長していく仲間を募集しています。

シミュレーションを身近なところで役立てる

[現在の業務]

社会人生の大半を 3 次元流体解析、管路系流体解析、原子力安全解析におけるモデリング技術開発、ソフトウェア開発、数値シミュレーションなどに携わってきました。特に計算精度を睨みつつ実用面に常に注意を払いながら、高度な流体解析シミュレーション技術を自分なりの高いプロダクトに具現化しました。今後も管路系および 3 次元の気液二相流解析を中心に、より高いレベルのモデリング技術やソフトウェアの開発を行って、当社の流体解析分野や原子力安全解析分野の発展に貢献したいと思っています。



三橋 利玄
Toshiharu MITSUHASHI

技師長
東京都出身。
1979 年東京工業大学工学部卒業。
2007 年アドバンスソフト入社。

[アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ]

アドバンスソフトには様々な分野の専門家がいますので、ある問題に対して自分の観点とは違った角度からのアドバイスを受けることができ、日々の業務の中でも多くのことを学べます。また科学や計算機は日進月歩で発展しており、それらに関わる先端技術研究に携われることもあり大変興味深いです。そのように自身の成長に楽しみを感じる方、あるいは科学やシミュレーションに興味がある方は、ぜひ一緒に仕事をしてみませんか。



データ処理とシミュレーションの融合を実現する



松澤 邦裕
Kunihiro MATSUZAWA
博士（理学）

執行役員

埼玉県出身。東京都立大学理学部物理学学科卒業。2004年に同大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了。博士課程ではドイツ・ハンブルグの DESY 研究所で高エネルギー電子・陽子衝突実験に従事。

【志望動機】

高エネルギー物理学（素粒子物理学）は、理論の予測を実験が証明することで、新しい発見を積み重ねてきました。大型加速器実験では、巨大な検出装置から大量のデータが集められ、理論との比較のため大規模なモンテカルロシミュレーションが行われるため、非常に多くの計算機を利用する必要があります。限りある計算機リソースを最大限活用する中で、新しい知見を探索し、さまざまな問題に対処することに興味を持って取り組んでいました。日々計算機環境が発展していく中で、科学技術計算が今後の社会に与える効果を見据え、新しい時代に先駆け科学技術計算ソフトウェアを開発していくというビジョンに、非常に感銘を受けました。

【現在の業務】

茨城県東海村にある大型陽子加速器 J-PARC で行われている大強度中性子ビームラインの実験制御、測定、解析プログラムの開発を行っています。実際に実験施設内に入り、現場の研究者とともに実験環境の向上に尽力しています。開発したプログラムは、新物質・材料の探索や、生命科学の研究に利用されています。

【私のこれからの抱負】

アドバンスソフトが生み出すソフトウェアは、最先端の研究開発に活用されており、課題を解決する中で、次の未来を切り開く一端を担っていると考えています。学生時代に培った実験に関連する経験と、アドバンスソフトの得意とする大規模シミュレーションを生かしながら、科学技術の発展に貢献していきたいと考えています。

【アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ】

学生時代からものづくりやプログラミングが大好きで自分が作った装置で実験を行うことがとても楽しかったです。ソフトウェア開発の楽しみは、お客さまの夢をソフトウェアという形にすることであり、仕事を通じて感動を共有できるところにあると思っています。人にやさしいソフトウェアと一緒に考え、開発していきましょう。

世界最高レベルの流体解析ソフトウェアの開発に挑む

【現在の業務】

流体解析ソフトウェア Advance/FrontFlow/red の開発を行っています。主な取引先は、公的研究機関、大手民間企業の研究部門です。予測することが難しく複雑な乱流現象を、流体解析ソフトウェアで解析し、お客さまの設計に役立てたり、また全く新しい計算手法をお客さまと一緒に研究開発したりしています。



【私のこれからの抱負】

世界一、世界初の流体解析ソフトウェアを開発したいと思っています。自らの開発したソフトウェアによって、世の中がより豊かで安全になっていると実感できたら技術者として幸せだと思います。個人的には、この分野で第一人者になりたいと思っています。

【アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ】

大学時代に専攻した物理学や数学を生かした仕事ができます。計算科学は第3の科学といわれますが、アドバンスソフトでは単なる計算結果の提示にとどまらず、プログラムの深い理解と物理現象の理解に基づいた提案を要求されます。大変な仕事ですが、その分充実感を得ることができますので計算科学に興味がある方はぜひ応募していただきたいと思っています。



大西 陽一
Yoichi OHNISHI
博士（理学）

執行役員

2006年大阪大学大学院理学研究科学専攻修了。

世界に目を向けた原子力安全性の研究開発



内藤 正則
Masanori NAITOH
工学博士

原子力安全工学センター長
茨城県出身。(株)日立製作所日立
研究所、(財)原子力発電技術機構、
(一財)エネルギー総合工学研究所
を経て、2020 年 4 月入社。専門
は原子炉工学、原子力安全評価。

[現在の業務]

原子力発電プラントの事故時安全性、特に福島第一原子力発電所事故のような過酷事故を主な対象として、事故シナリオの特定、安全保護系機器・システムの性能評価、事故時に現れる諸現象の評価、ならびに事故シミュレーションのためのソフトウェア開発などを外国機関と協力しつつ行っています。

[私のこれからの抱負]

原子力安全性は、単に一企業・組織、あるいは一国だけが優れていれば良いというものではありません。国際的な協調・協力が強く求められています。私は、これまでも OECD の原子力局(NEA)や IAEA といった国際機関が進めるプロジェクトに積極的に参加して参りました。今後もこのような活動は継続し、アドバンスソフトが国際的に認知された組織となることを目指します。国際的な認知を得るためのもう一つの重要なことは、国際会議等での活動です。国際会議での発表・議論等もこれまで同様、積極的に進め、世界から一目置かれる存在であり続けたいと思っています。

原子力発電プラントは、原子核物理、原子炉物理、熱・流体力学、材料・構造力学、そして化学工学、などを結集した総合工学の産物です。さらにプラントシミュレーションのためのソフトウェア開発には、システムエンジニアの技術も必要です。これら個々の技術を有機的に結合し、世界的に認知された優れた「アドバンスソフト社のソフトウェア」を開発します。

[アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ]

解析コードを用いて計算した結果は数値の羅列に過ぎません。「解析した、あるいは計算を実行した」というのは成果ではありません。これは、「実験をした」こと自体が成果ではないことと同じです。計算で得られた数値の裏にある物理現象を深く考察することが必須です。ソフトウェアの開発においても、物理現象を反映した数値モデルで構築する必要があります。このような考え方に同調し、世界に目を向けた研究開発をしたいと思っている方、ぜひ我々のグループに参加し、一緒に世界に向けた研究開発を進めましょう。

原子力発電所の安全解析に挑む

[志望動機]

大学時代は物理学を専攻し、宇宙物理学分野のシミュレーションを行っていました。その経験を活かせると考え、原子力分野の解析業務を選びました。

[現在の業務]

原子力分野は様々な科学の集結した分野であり、内容也多岐にわたります。これまでに、原子炉の炉心設計に関わる核特性解析や重大事故等対策の有効性評価に関わる熱水力解析の分野を経験しました。現在は、それらの経験も活かしつつ、原子力規制検査に関わる確率論的リスク評価の業務に従事しています。

[私のこれからの抱負]

技術第 5 部では、原子力に関わるプログラムの研究開発(例：二相流、デブリ挙動)、シビアアクシデント解析(例：福島事故関連、FP 挙動)、確率論的リスク評価(例：レベル 1 及びレベル 2PRA)など、原子力関連業務を幅広く手掛けています。引き続き、官公庁、研究機関、電力、メーカーと共に原子力発電所の安全性向上に貢献し、顧客からの信頼を高めることで、上記分野の事業を拡大していく予定です。

[アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ]

当社は、あらゆる分野のシミュレーション業務とソフトウェアを持ち合わせています。シミュレーションに興味のある方には、必ず自分にあった分野が見つかると思いますので、ぜひ応募してください。歓迎いたします。



森本 達也
Tatsuya MORIMOTO
修士(理学)

技術第 5 部部長
千葉県出身。日本大学理工学部物理学科卒業。日本大学大学院理工学研究科修士課程修了。興味ある分野は原子力関連の解析分野全般、特に核熱水力特性解析。

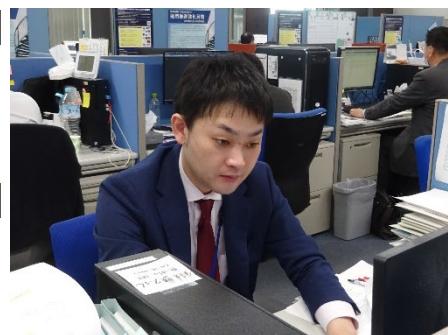
計算科学技術のリーディングカンパニーに向かって

[現在の業務]

原子力系の研究機関などを主に担当しています。お客さまを訪問し最先端の技術開発ニーズをお聞きして、当社の技術担当者へその情報を伝え協力してお客さまの課題解決策を提案する営業活動を行っています。

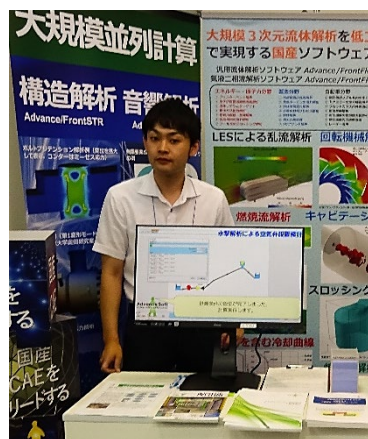
[私のこれからの抱負]

お客さまの技術開発ニーズをアドバンスソフトの高度な計算科学技術で解決し、アドバンスソフトがシミュレーション分野で世界をリードする企業を目指せるよう、アグレッシブな営業活動をしていきます。



鈴木 照久
Teruhisa SUZUKI
修士

営業第2部 副部長
静岡県出身。東京農業大学大学院修了。
2014年入社。



[アドバンスソフトを目指す方へのメッセージ]

当社の営業活動は、世界の最先端技術をサポートする業務です。日本の産業や社会インフラを支えるための高度な計算科学技術を提案する業務であり、自分の提案した技術力が日本を支えていることが実感できるやりがいのある仕事です。提案は技術者と協力して行いますので、入社時には理系の知識が無くても大丈夫。好奇心旺盛な方、やる気のある方、ぜひ一緒に仕事をしましょう。

世界を変えるシミュレーションソフトを目指して

[志望動機]

私は、大学の専門が実験化学でした。そのため日頃の研究では数値計算とあまり関わりがありませんでしたが、ふとしたきっかけからプログラミングを学ぶ機会があり、実験の傍らデータ処理システムを構築しました。その時から、プログラミングの可能性や魅力に取り込まれ、「実社会では計算科学を自分の仕事にしてみよう。」と思い立ち、アドバンスソフトに入社しました。

[現在の業務]

日々の業務は、数値シミュレーションプログラミングのコーディング、デバックおよびそれらのプログラムを使った解析を実施して計算結果の妥当性を検証したりしています。具体的には、お客さまの抱えるさまざまな問題を解決するため、お客さまと解析についての議論を重ねて、設計、実装、解析・評価に至る一連の数値シミュレーションについて日々取り組んでいます。最近では、日本の最重要課題ともなっている原子力関係のお客さまを主に担当しています。学生時代は、原子力とは無関係でしたが、アドバンスソフトに入社してから先輩や上司の指導のもと、ひとつひとつ経験を積んでいきました。



また、数値シミュレーションの計算で解析するだけでなく、自分で可視化プログラムを作成することもあります。アドバンスソフトは、自分で仕事をコントロールできれば、やりたいことができる風土だと思っています。

[私のこれからの抱負]

世界を変えるような、数値シミュレーションソフトウェアを生み出していきたいと思っています。



富永 直利
Naotoshi TOMINAGA
修士

熱流動エンジニアリングセンター
第13課 課長
福井県敦賀市出身。
金沢大学卒業。2013年入社。

クラブ活動紹介



社員の親睦、心身のリフレッシュ、健康増進および体力増強を目的として厳しく、楽しく活動しています。

野球部

アドバンスソフト野球部はITS軟式野球大会に参加しています！！
ITSはアドバンスソフトが加入している関東ITソフトウェア健康保険組合のことで、毎年300社以上の会社が参加する大きな大会です。
気合を入れてお揃いのユニフォーム（上着と帽子）も作りました。

春夏は毎週のようにバッティングセンターやグラウンドで練習を行っています。もちろん練習後のビールの味は最高です。
野球未経験の方でも大丈夫、大会時の応援団もお待ちしています。



陸上部

2013年から活動開始。毎月1回皇居で合同練習会を開催。
部員も徐々に増えて、日常業務での部や課の垣根を越えた交流を深めています。2016年はグリーンリボンランニングフェスティバル(駒沢公園)では240チーム中126位、ハイテクタウン駅伝(板橋区)では773チーム中288位と大健闘。

タイムは各人いろいろですが、毎年2回の大会参加に向けて、皆それぞれの目標を持って、明るく、楽しく頑張っています。青空のもと、汗を流してリフレッシュしたいという方も大歓迎です。

「スポーツエールカンパニー2022」および「令和4年度東京都スポーツ推進企業」に認定

スポーツ庁から「スポーツエールカンパニー」および、東京都から「東京都スポーツ推進企業」に認定されました。今後も引き続き、従業員の健康促進を目的とした活動や支援を行ってまいります。



技術者（新卒および中途採用）募集

下記連絡先へ電話、メールにてお問い合わせください。

アドバンスソフト株式会社 総務部 人事課 担当：小池太一
TEL：03-6826-3970 E-mail：recruit@advancesoft.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地 新お茶の水ビルディング 17 階西

【修士修了の方、博士号取得者、中途の方も随時募集しています】

技術職

募集職種	数値解析、ソフトウェア開発技術者
雇用形態	正社員
応募資格	● 大学卒以上、専門的経験を持った希望者は年齢問わず ● 日本語での業務遂行に支障のない方
待遇	● 給与：当社基準に基づき決定（賞与 年1回、昇給 年1回） ● 勤務時間：9時00分～17時30分、休憩時間12時00分～13時00分 ● 待遇・福利厚生：社会保険完備、交通費支給 ● 休日・休暇：土日祝、年末年始、有給休暇
開発言語	Fortran, C, C++, C#, JavaScript, HTML, CSS, SQL, Python, 機械学習系のフレームワーク（TensorFlow, PyTorch）, MPI, OpenMP, OpenACC, OpenCL, CUDA, MATLAB/Simulink/Stateflow, Modelica（OpenModelica, Dymola）など

非常勤専門職も募集中

募集職種	数値解析、ソフトウェア開発技術者
応募資格	● 理学博士、工学博士歓迎 ● 科学技術計算、ソフトウェア開発の経験者 ● 大学卒以上、専門的経験を持った希望者は年齢問わず ● 日本語での業務遂行に支障のない方
待遇	● 勤務時間、在宅勤務、応相談 ● 時給 3,000 円～5,000 円 ● 休日・休暇：土日祝、年末年始、有給休暇

技術営業職

募集職種	営業担当者
雇用形態	正社員
応募資格	大学卒以上
待遇	● 給与：当社基準に基づき決定（賞与 年1回、昇給 年1回） ● 勤務時間：9時00分～17時30分、休憩時間12時00分～13時00分 ● 待遇・福利厚生：社会保険完備、交通費支給 ● 休日・休暇：土日祝、年末年始、有給休暇

改訂：2023年3月

